



# 清流

発行 〒861-4696 熊本県上益城郡甲佐町大字岩下194 甲佐町議会 ☎(096) 234-1111 編集 議会広報編集特別委員会

ミレニアム年を意識して、甲佐町の歴史の変遷を懐かしむことの出来る写真このテーマの2作目は、

## 安津橋

今も昔も、甲佐側と船津側にはお互いに耕地が存在し、通作が日常的。25町歩と25町歩の出入り作という。現在の永久橋の先代は、昭和17、18年頃に架設された木橋。木橋は永久橋に劣るから、増水で損壊し、復旧と損壊を5回ぐらい繰り返したらしい。

写真のものは、その木橋よりもっと以前のもの。緑川の流れが穏やかに安定する頃に、甲佐側の人々は上流部の大町付近に、船津側の人々が下流部の有安付近に渡しの橋を架けた。

写真のものは「上の橋」で、対岸は大町。遊水池のあった場所らしい。一旦増水すると、橋は跡形もなく流れる。無くなる人々は「渡し船」に切り替えた。「上の渡し」と「下の渡し」があって、橋と渡しで行き来した先人の力こぶを今に伝える記録である。

(写真の記念碑は、下の渡しのもの)



2000年の安津橋



- |              |      |
|--------------|------|
| 1千万円はリーダー育成に | 2P   |
| この場所に公害は困る   | 3P   |
| 聞きたいことを聞きました | 4~5P |
| 4人が一般質問      | 6~9P |
| 教育委員に坂田さん    | 10P  |
| 女性が頑張る       | 11P  |
| 「あゆみ」オープン    | 12P  |

六月議会は、6日から8日までの3日間の日程で開かれました。今回、村上彪町長が提案した議案は15件。内訳は、前年度予算などを法律等に基づいて行った専決処分報告が7件、議会に報告すべき事件が2件、条例の制定・改正が4件、今年度補正予算が1件、ほか1件でした。

初日は一般質問。2日目は町長が提案した議案の審議。この中で代表格は、「人材育成基金条例の制定」でしたが、いずれも提案どおり可決しました。

3日目は、陳情書の審議でした。当日になって上野内の皆さんから「産業廃棄物中間処理場建設に反対する陳情書」が、急ぎよ提出されて、一時、慌ただしさが漂う場面もありました。しかし、議会はすぐに反応し、いずれも採択しました。

ここでは、この2つを特集して、紹介します。

# 6月定例議会から



円内は答礼を述べた村上彪町長

## 東京甲佐会からの1千万円

### 人材育成基金

#### 条例を可決

東京・帝国ホテルで4月16日に開かれていた東京甲佐会。このとき、同会から寄付されていた1千万円の使いみちを町長が議会に提案し、議会はこれを了承しました。

本紙前号で、六月議会で決めると予告していた通りとなりました。

寄付の主旨を述べられた前東京甲佐会長の伊東一男氏

## 指導者の育成 町民のレベルアップ

基金とする

使いみち

### 人づくりが目的

提案の内容は、「人材育成基金」を設立するというものでした。

議会の審議のポイントは、①寄付者側の意向に沿うものか②どのような人材を育成するのか③実際の運用や経費は毎年いくらになるかなどにありましたので、これを見てみます。

### 寄付者側の意向に沿ったもの

寄付者側の意向は、基金にして、産業分野のリーダー育成に役立てて欲しい、という主旨でしたから、意向に沿っていることが分かりました。

### 主に産業、教育

### 文化、福祉のリーダー育成

町の活性化を図るには「人」の活性が何よりである。1千万円は財産化して基金に積み立て、今後はこの財産（基金）を上手に運用することになる。

事業は、産業、教育文化、福祉の分野でリーダーを育

成することや、町民の知識や能力のレベルアップに役立つ事業を行うという考え方が分かりました。

### 利子が安いから 原資も崩す

預金利息が高いときには利子だけで事業が運用出来たときもあったが、今は低金利時代にあるから、そうもいかない。時には1千万円の原資を取り崩す場合もあるとする考えも分かりました。

### 農業も産業だ

議会ではつぎの質疑もありました。

議員 農業も産業であるから、農業分野での人材育成も考えているか。

町長 農業も含めて、具体的な事柄はこれから検討して規則を作る。

### 可決

この結果、議会は、甲佐町の大計を目指すこの条例を可決しました。今後町長が具体的な事業を展開し、町のリーダーが数多く育つことを期待します。

## ヤナの上流に 建設計画

6月8日、六月議会の最終日のことでした。  
この日、上豊内の皆さんを中心とした人々から、議会に陳情書が提出されま

した。  
内容は、上豊内に二つある採石場の片方で産業廃棄物の中間処理場を作る動きがあるが、これには断固反対する。議会でもこれに賛同し、建設反対の意見書を熊本県に対して出してくれというもの。

## 公害は困る

議会では早速、この陳情問題を議題に取り上げて、質疑を行いました。

## 議会が採択

議員 この計画は、実際に向けての計画中で、県への事前協議中ということだが、この意味は何か。  
説明 県への正式な申請ではなく、口頭で、作りたいとの申し出中。施設の規模・構造・処理概要等は今後の測量などが済んでから出されることになる。  
議員 乙女の（世持にある）産廃施設では、今、粉塵の公害が発生している。二度とこのような中間処理施設が出来ては困る。町長も先頭に立って反対するべきだ。

町長 268人の陳情署名を重く受け止めている。先頭に立っていききたい。

## この場所は困る

質疑に続いて、賛・否の討論は、次のとおり。

反対意見 なし  
賛成意見 問題の場所は、私たち甲佐町民全体の飲料水や生活水の源に近接している。この場所は困る。そうした意味でこの陳情書に賛成する。

## 問題の場所



## 知事に反対意見書を提出

こうして議会は、満場一致でこの陳情書に賛成して採択となりました。  
議会は続いて、建設反対の意見書を知事へ提出する議案（議員提案）を議題としました。

賛成意見 絶対許可しないよう強硬な反対意見を知事に出すべきだ。提出賛成。

採決の結果でも、「建設に反対する意見書」は満場一致で可決となりました。議会終了後の6月16日、境岡副議長は、熊本県環境生活部長などに議会の議決文を提出し、また、上豊内区では6月24日、建設反対の立て看板を立てて並々ならぬ決意を示しました。住民パワーが実を結び、クリーンな生活環境が保持できることを祈ります。

## 地元だけの問題ではない

反対意見 なし  
賛成意見 地下水、農業用水、表流水、下流域まで及ぶもの。場所が場所だけに地元だけの問題ではない。建設には断固反対して、提出には賛成。

# 産業廃棄物処理場建設

## 地元住民

# 268人の反対は妥当

6月24日、上豊内区はこうした決意を表明



6月議会の補正予算。この審議の中で、  
聞きたかったことを聞きました。

# これだけは 聞いておきたい

## Q アンド A

# 論 点

### 町の景観を熊本 1001景で整備

Q 1

熊本1001景観づくり推  
進事業が予算に計上され  
たが、今後の取り組みの中  
で、清正公山、白旗山の景  
観を生かした桜の名所づく  
りも考慮してあるか。

A 1

この景観づくりは、町独  
自の特色である景観を作る  
事業であり、これから策定  
していくもので、考慮して  
いきたい。

### 安津橋下流の グラウンドG場 本年度着工

Q 2

ふるさと創生事業費の、  
安津橋健康広場整備費の内  
容は何か。

A 2

安津橋周辺にグラウンド  
ゴルフ場の建設を予定して  
いる。建設省との協議で、  
建設省側が低水位護岸、散  
策路など、町側が土地の造  
成、コース作りを行う。公  
認コースでの設計を考えて  
いるが無理かもしれない。  
完成次期は来春の予定。



秋は紅葉、春は若葉、夏は水辺に映える白旗山

### J A跡地の利用 計画は進んだか

Q 3

J Aの旧・龍野支所の買  
収計画は進んだか。

A 3

町側は価格提示を求めて  
おり、J A側が検討の段階。

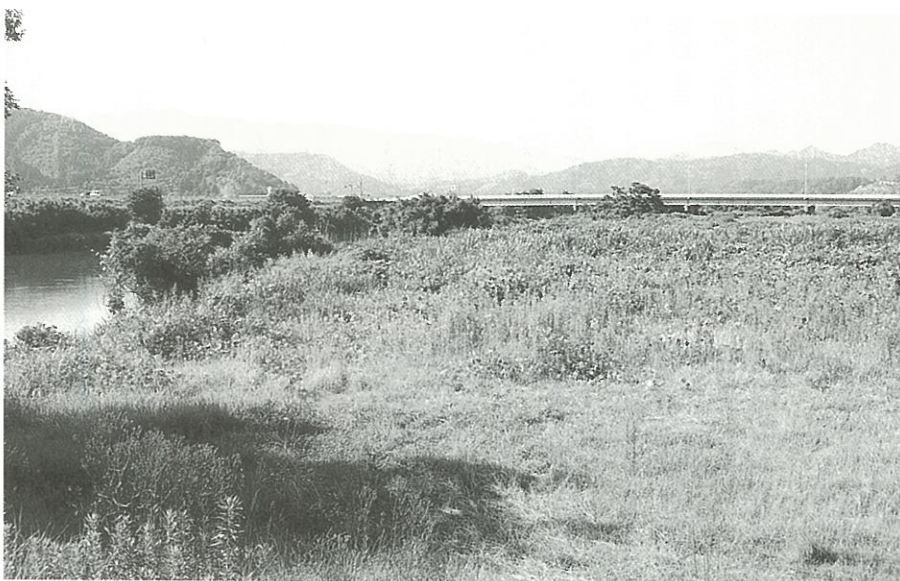
### 水難救助の訓練 はあるのか

Q 4

緑川には憩いの空間や釣  
り人も多い。心配は悪天候  
による増水。消防団は救助  
訓練しているのか。

A 4

消防団の水難訓練は、年  
に1回だけ、郡、県の合同  
訓練があるだけで、しかも、  
人命救助等の高度な器具を  
使用した訓練ではない。上  
益城消防署では、日ごろか  
ら人命救助班が設置して、  
訓練がされている。



安津橋周辺のグラウンドゴルフ場の建設予定地  
(緑川の下流から上流の安津橋側を望む)

## 制度資金での資材調達は 民間もよいか

Q 5

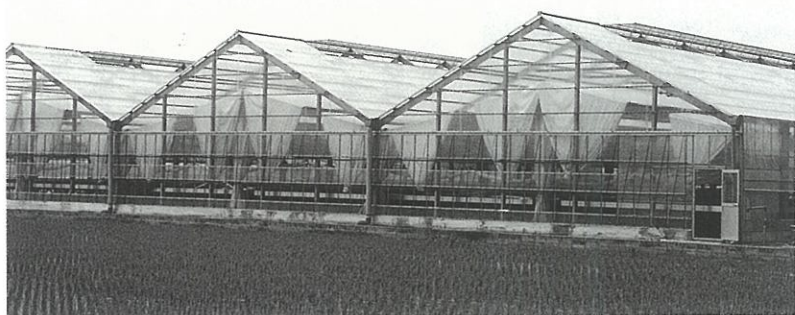
農業制度資金を利用する場合、資金の窓口はJAでも、施設や資材の購入先は民間の場合が有利と考える利用者もいる。実際もこの方法が通用するか。

A 5

資金そのものはJAを経由するので、JAでの調達が多いが、今、ハウス事業でリースが3棟、民間・JAの両方で作っている。



農業も設備投資の時代



Q 6

農業振興には、技術や知識を持った人材の確保が望ましい。町の職員採用にもこれを考慮しないか。

A 6

専門分野の人材は望ましい。考慮するに値する。

## 農業技術を有する 人材を登用しないか

Q 7

本町が癌による死亡率が高いのは、約40数年前に、造林のため散布した竹枯らしの農薬が原因ではないかという人がいる。古い話だが、調査できるか。

A 7

癌と病気とは別に調査してみた。

## 癌と農薬の関係

Q 8

津志田のさくら、堤の桜の生育が悪いらしい。どうなのか。

A 8

今年の冬場の、手入れの時期が来てから土壌の入替なりで、手当をしたい。

## 津志田の 桜は元気か



津志田の桜堤から眺めた河原と乙女橋

## ぞんじ、休憩

最近よその議会から本町議会によく視察に見える。議会だより「清流」が目的なのだ。喜ばしい限りである。

会場に案内するとき、まず、うぐいす張りの階段と廊下を自慢できる。我慢できるところは我慢し、必要などところに予算を使うという自慢である。次は、「清流」の内容。まだある。本町名産の茶菓子。農業の特産品、などなど。

視察団が帰られたらふと思うこともある。甲佐の名物は幾つあったのか。多ければ多いほどうれしいから、もっと増えないだろうか。食べ物、飲み物、農産品、工芸品、日用品、景観、史跡、建物、文化芸術、人、自然。

議会と議員の使命は何だったのか、ふとまた考える研修の受け入れです。



こころが聞きたい!

# 一般質問

## 答弁

高木英吉議員

### 子供の教育は重要だ



緑川保育所の子育て懇談会には多くの保護者が集まった

高木議員

高木議員  
昨今、少年犯罪が非常に多く、異常な事件に発展している。町内の学校では「生命の大切さ」「命の尊厳」をどのように教育しているのか。

教育長

教育長  
いずれも、重点的に、筋道を立てて教育しており、今後も根気強く行う。

高木議員

高木議員  
甲佐高校と甲佐幼稚園が「子育て懇談会」を開き、子供のしつけのテーマで勉強し、悩みの解決に力を入れていく。今後こうした機会を進めないか。

教育長

教育長  
今年4月に幼稚園で開いたし、7月には緑川保育所で開催。今後は私立の保育園において

も開くよう呼び掛けを行う。

高木議員

高木議員  
大津町には、チャイルドライン支援センターというのがある。甲佐でもどうか。

町長

町長  
本町でも、子供相談、懇談会など今真剣に考えなければならぬ問題である。

高木議員

高木議員  
日和瀬橋周辺の工事が着々と進んでいるが、今後の進み具合はどうか。

用地開発課長

用地開発課長  
右岸側の荒地地帯の整備は、県に要望する。

また、今後14年度までに

下部工は完成し、翌15年度にはすべてが完成して供用が始まる予定。橋の道路は、幅員が15mで、左右に3.5mの歩道がつく。

高木議員

高木議員  
もうすぐ総合保健・福祉

### 443号線をいかに整備する



この交差点の先には、あと一つ、進入路がつく

高木議員

高木議員  
センターが完成し、お隣には商業アパートもオープンする。このことで、この一帯は公民館の信号機交差点と連動して、交通の混雑は確実に増す。どうするか。

用地開発課長

用地開発課長  
国道と県道が接続するこの付近は、3路線とも右折ラインを設けることで交通混雑に対処したい。

特に国道443号線の場合は、砥用方面に向かう車線の右折ラインを長くするように要望中。

高木議員

高木議員  
豊内地区の異常出水を指摘して一年が過ぎた。どのような改善を行ったか。

環境衛生課長

環境衛生課長  
昨年度22箇所の送水管を調査し、7箇所の漏水箇所を発見し、修繕した。今年度も6箇所を補修した。しかし、まだ若干の出水が認められるので今後とも調査を続ける。

高木議員

高木議員  
平成7年度から始まった老朽管のやり直しは、今年度が最後の年だと言わずに今後も続けて欲しい。

環境衛生課長

環境衛生課長  
老朽管はまだ13箇所残っている。費用にして4億5千万円必要だ。予算に無理があるが、出来るだけ早く改善を終えたい。

高木議員

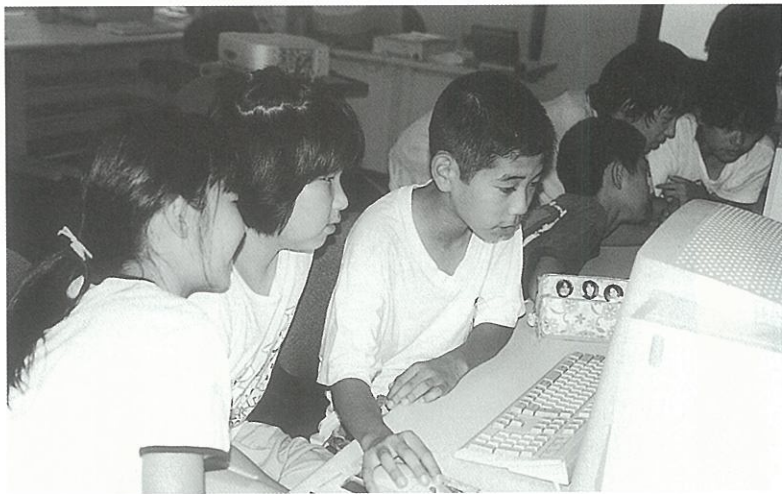
高木議員  
豊内地区の老朽管はどうする。

町長

町長  
豊内地区のは、新たな計画の中で、検討する。

水漏れは直ったか

学校ではネットワークで



パソコンでインターネット中 (白旗小)

## 人材育成も必要ではないか

町では職員研修で

### 奥名克美議員

奥名議員  
文部省の計画に沿って、本町の小・中学校から家庭やいろんな施設と情報交換するネットワークの活用に取り組まないか。

学校教育課長

各学校では、教育センターのインターネットに接続し、利用している。

奥名議員

行政事務の高度化と改善を図る目的で、本町でもネットワークの構築によるコンピュータを導入したが、庁舎内のOA化は現段階でどのくらいか。

文書情報課長

住民情報の情報蓄積マシーンが2台、その他の情報蓄積マシーンが2台であり、これと接続したパソコンを各課に配備している。

奥名議員

OA化や高度情報通信社会に対応するためには、職員研修を重ね、職員の人材育成が必要ではないか。

文書情報課長

職員のパソコン研修は昨年度、初級・中級のコースに分けて行った。今年度も第2次導入以降に備え、対象者の範囲を広げてOA研修を行う。専門的な研修機関への職員派遣も有り得る。

## 白旗小

### 通学路の整備を急げ



川沿いの通学路。整備が必要

奥名議員

白旗小学校は独自の基本計画を作り、プールの改修を目指しているが、町の考えはどうか。

町長

学校の計画を尊重し、プール改修や体育館などの計画を町の計画に入りたい。

奥名議員

中州川沿いの白旗小学校の通学路は、町の管理区間だが、未整備が目立つ。整備が必要だ。

町長

通学路の安全を目指して、十分調査する。

奥名議員

今では家庭でも自治体でもホームページを開設し、町の紹介、観光スポット、イベント情報、特産品紹介などが盛んである。本町のホームページはまだ開かないのか。

町長

後れを取っているので、インターネット時代に備えたい。商工青年部も「やりましょうよ」と言っている。

### 本町での 県営事業

#### 失速しないか

奥名議員

国体を終えた熊本県は大変厳しい財政状況らしい。県は、事業費の10%カットや、新規事業の休止等を行うという話を聞く。これは、本町にどう影響するか。

建設課長

話によると、県道・国道の新規採択分は難しく、他の補助事業も厳しい様子。心配だ。

耕地課長

町内で、今進めている県営事業は、実施期間を延長して実施されるだろう。3年の計画分は4年に、5年のは6〜7年に延ばされる恐れがある。完成までの期間が延ばされる可能性が高い。



学校主事の仕事の1つ、炎天下での校内美化作業

## 行政改革は、教育的見地に反する

### 佐藤義郎議員

佐藤議員

町長は今回の行政改革で、学校主事をなぜ臨時職員にしたのか。

町長

ある町の学校主事は臨時職員であるという議会からの研修報告を聞き、本町でも行政改革に取り入れた。これで4人の職員を他所に配置することが出来た。

佐藤議員

幼稚園でも職員の仕事に、臨時職員を増やした。臨時職員の場合、月の勤務が16日で、少ない日数分が職員の負担増にならないか。

教育長

臨時職員の勤務時間は、正規な職員の4分の3という規則の範囲である。

町長

職員の配置が理想的だが、臨時職員での対応とした。負担増の課題は残る。

佐藤議員

行政改革の名の基に、教育行政は後退している。これで良いのか。

町長

行政改革が先行することはやむを得ないと判断する。

佐藤議員

教育行政を悪くすることが行政改革か。今回の行政改革は教育的見地に反するから、考えてもらわないと困る。

## 介護の福祉が後退しないように手を打つべきだ



寸劇で介護保険の説明をする緑風苑

佐藤議員

介護保険がはじまってからと、始まる前ではどう違うか。

健康福祉課長

3月までは、個人の申請に応じて訪問介護やデイサービスなどが受けることが出来て、これは大部分の人が無料であった。4月からは、

個人の申請に対して行政側が判定を下し、サービスの上限を決める。個人は、この金額の範囲内で介護サービスの種類をケアマネージャーと相談して決める。

この場合に、料金の1割を個人が負担することになる。

佐藤議員

甲佐の福祉は評判が良いが、横出しや上乘せサービスのの実態はどうか。

町長

介護保険が始まって長いから、中身の実態調査

を行う時間が十分ではない。今後、調査を行う。

佐藤議員

何か特別なものを手当しないか。

町長

中身がまだ見えないから、これから中身を調査して考えてい。

佐藤議員

万全な体制をとるといふからには、早く実態を明確にしてくれないと困る。

## 説明

上乘せサービスとは

法律で決められたサービスの上限を、町独自で引き上げること。

横だしサービスとは

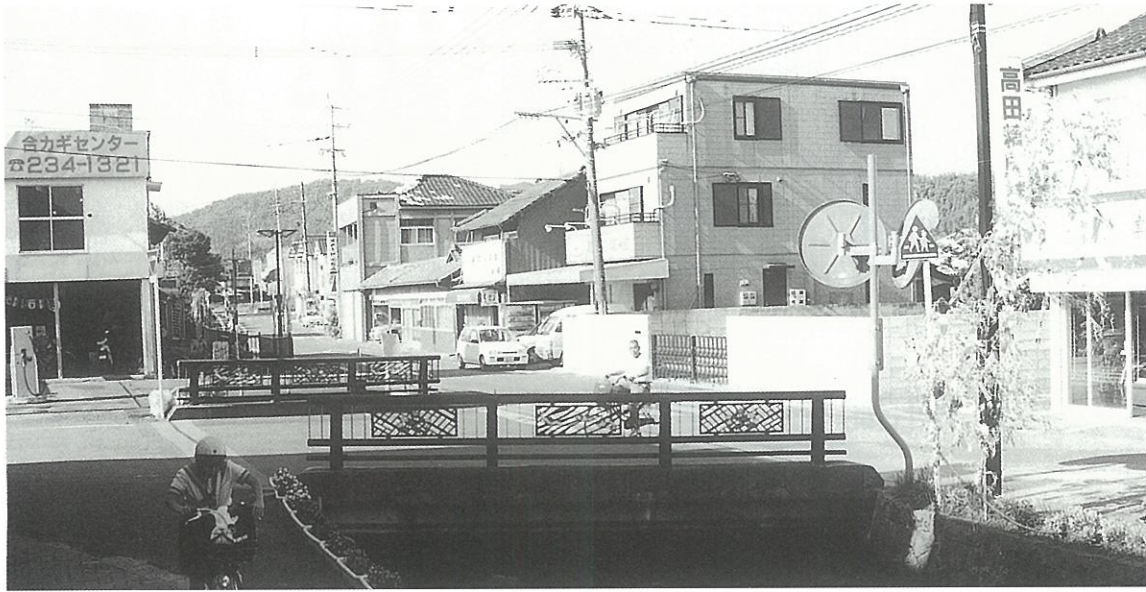
法律で決められたサービスの種類を、町独自で追加すること。

ただし、これらのサービスは費用の部分に制約がある。これらは第1号被保険者の保険料で賄うものとされて、個人の負担ばかり高くなるので、本町では実施しないことになった。



# 道路の整備をはかれ

北畑常博議員



県道、宮原・甲佐線の緑橋交差点付近

北畑議員

町の活性化のためには、熊本市内に通じる4車線道路の開発をこれまで幾度となく提言してきた。

建設省側からは地元で建設促進期成会を設けて要望したらどうかと話ががあったと聞く。

町長は、御船町長に相談したが、御船が承知してくれないとあって、その後何の手も打っていない。

城南町は、立地条件は甲佐とあまり変わらないのに、今では人口が5割も多く、経済力は比較にならない程に高い。この差は熊本市内への道路の整備だ。甲佐・三本松線の改修、勝本自転車店と高田精肉店との間の交差点、甲佐高校横の拡幅。いずれも具体的にはまったく進んでいない。一体、どうしようとしているのか。

## 中・高一貫教育の答えはまだか

北畑議員

今16歳や17歳の少年の不祥事が相次ぎ、大問題になっている。

成長期の大変重要な時期を切れ目なく教育をまっとうすることが重要かと思

い、中・高一貫教育をやつてはどうかと、これまで何回となく提言してきたが、いったいどう考えているのか。

教育長

(県がどうするかの問題であるから)町長と一緒に、県教育長や次長に会って、考えを聞いた。

町長

今の財政の現状では、理想は持っていますが、思うように進まないのが現状。

教育長

中学校の大規模改修には相当多額の経費が必要。たしかに劣悪な教育環境ですが、順番からすると、甲佐小学校のプール、白旗小学校の体育館が先にならざるを得ない。

北畑議員

危険な状態なら、順番とか耐用年数が問題ではない。そういう中で子供に何かあったらどうする。中・高一貫教育でも、改修問題でも、十分検討し、その気になって具体的に手を打つべきだ。

教育長

教育委員会の会議で諮る。

町長

4車線道路は要望したが、大変困難だという返事だった。私も構想は捨てないが、熊本県側の理論は、4車線道路ではなく、2車線道路

をもう一本作れば同じではないかという。

私も、現段階では国道443号線の改良をまず進めながら、もう一本道路を作

助役

精肉店と自転車店との間の交差点は県道であり、土木事務所長や上益城振興局長に町長が相談しているが、大変困難。町道との関連があるので、町側も検討する。

# 広報づくり



研修に 대응する 4人

編集特別委員  
会の総勢十一  
人。

6月30日、  
我が議会に、  
福岡県糸田町  
が、議会だよ  
りの勉強に来  
ました。広報  
編集特別委員  
会の総勢十一  
人。

## 糸田町を迎える

甲佐町議会のエキスが糸  
田町議会の体質に合って、  
効果が出ることを期待しま  
す。

6月30日、  
我が議会に、  
福岡県糸田町  
が、議会だよ  
りの勉強に来  
ました。広報  
編集特別委員  
会の総勢十一  
人。

糸田町議会では広報誌は  
まだ発行しておらず、これ  
から創刊を考慮している  
と、甲佐町議会だよりの風  
評を伝え聞いたから、ノウ  
ハウを学びたいというもの。  
本町議会側は、本田昭一  
委員長、高木英吉副委員長  
に、境国嗣議長（前々・広  
報委員長）、奥名克美総務  
常任委員長（前・広報委員  
長）を加えた四人が、糸田  
町側との情報交換に熱っぽ  
く終始しました。

## 川辺町に学ぶ

本紙「清流」の編集委員  
会は、五月、鹿児島県川辺  
町に勉強に出かけました。  
テーマは議会だよりの内容  
充実。  
面積およそ130km<sup>2</sup>、人  
口1万6千人、世帯数6千  
の川辺町は、農業と仏壇の  
町で、合い言葉は「住民が  
自ら参加するまちづくり」。  
しかし、いかんせん、鹿児  
島市への一極集中の波が町  
におよび、影響を受けてい  
るとのことでした。

勉強会は相手方の好意で、  
四国・香川県の三木町との  
合同会でした。わかりやす  
く、読みやすい記事作りを  
どうするかの課題を持つ我  
が議会側は、両町議会のエ  
キスの飲み込みを胸に秘め  
て臨みましたが両町議会と  
も紙面作りは道半ばの様子  
でした。  
紙面作りの難しさを改め  
て勉強させられた私たちが  
ですが、努めて本紙「清流」  
の内容充実、今後も励み  
ます。

## 健康で長生きしましょう

甲佐町の皆さんお元気で  
すか。私は病院で、管理栄  
養士の仕事をしています。  
毎日、食べ物と病気や健康  
の仕事をしています。  
栄養指導は身長・体重と  
血液検査のデータを見て行  
います。毎日がこの仕事で  
すから、気がかりなことを  
紹介します。



中村 登智子

夫の厚徳さん、4人のお嬢さん  
との6人暮らし。糸田

## 傍聴席から一言

肥満、高脂血  
まぎまぎです。日ごろからの  
症、糖尿病、高  
積み重ねが原因。内臓は実  
血圧などの病名  
際の年齢より弱っています。  
で、30歳前半か  
こういう人には、即座に食  
ら指導を受ける  
生活の軌道修正を勧めます。  
甲佐の全ての皆さんも、  
人が多いのです。  
そういう人は、  
議会の皆さんも、食生活に  
ファーストフー  
留意すること、歯を大切  
ド、コンビニ、  
にして、健康で長生きする  
朝食抜き、飲酒、  
ことに努めていただけませ  
好き嫌い、カロ  
ンか。  
今日の健康と、明日の健  
どの食生活がさ  
康のために。

## 教育委員に

## 坂田 幸治 さん



県立矢部高等学校の主任事  
た。

空手道を教育道に  
生かして欲しい

三月議会から

三月議会の  
初日（3月10  
日）、町長は  
教育委員の選  
任同意を議会  
に求めてきた。  
理由は、前  
任者の本田莊  
一氏の任期満

務長を最後に熊本県学校事  
務職員を勤め上げた実績と、  
今でも県組織の要人として  
生涯を空手道に生きている

空手道を教育道に生かし  
て欲しい。そうした空気が  
満ち溢れた議決でした。

# 国民の

# 権利を行使

採択の意味・・・議会がその内容を妥当と認めること。

今期定例会最終日の8日は、皆さんから議会に提出された陳情書の審議を行いました。陳情や請願は、憲法や法律で、国会、地方議会、官公署に対して行うことが出来る皆さんの基本的な権利です。

大いに活用してください。

## 陳情

ここに紹介していただきます。3ページには上豊内を主とした皆さんから提出された問題を集めています。また、三月に、農業委員全員の皆さんから報酬額の引き上げに配慮するよう求めた問題は、三月議会で総務常任委員会に調査を付託していますが、まだこの調査は進行中です。調査が終わってから紹介します。

### 農業委員に女性の登用を求める陳情書

**男** 女共同参画社会の実現に向けては、多面的な生活の視点を持った女性の能力を発揮する機会を与えるべきだ。

農業委員へも女性を登用するよう議会で配慮していただきたい。

#### 採択

**陳情者** 甲佐町生活改善グループ連絡協議会長田上峯子、JA女性部会甲佐支部長堀住君子

### 下矢部西部地区からの陳情書

**産** 業廃棄物中間処理施設の建設が、矢部町大字藤木・字猫ノ尾に予定されている。矢部町の我々は世論を結集し徹底的に反対する。甲佐町の皆さんも、予定地が緑川の同一水系の上流であるから、この反対に賛同していただきたい。

### 「非核平和自治体宣言」等の決議を求める陳情書

**世** 界唯一の被爆国である我が国は核兵器をつくらず、持たず、持ちこまずの非核三原則を守り、恒久平和を目指さなければならぬ。甲佐町も「非核平和」を宣言し、国や世界にこの声を訴えてください。

#### 採択

**陳情者** 下矢部西部区長会 長坂本安喜

#### 採択

**陳情者** 原水禁日本国民会議熊本県協議会理事長河瀬和典、ほか

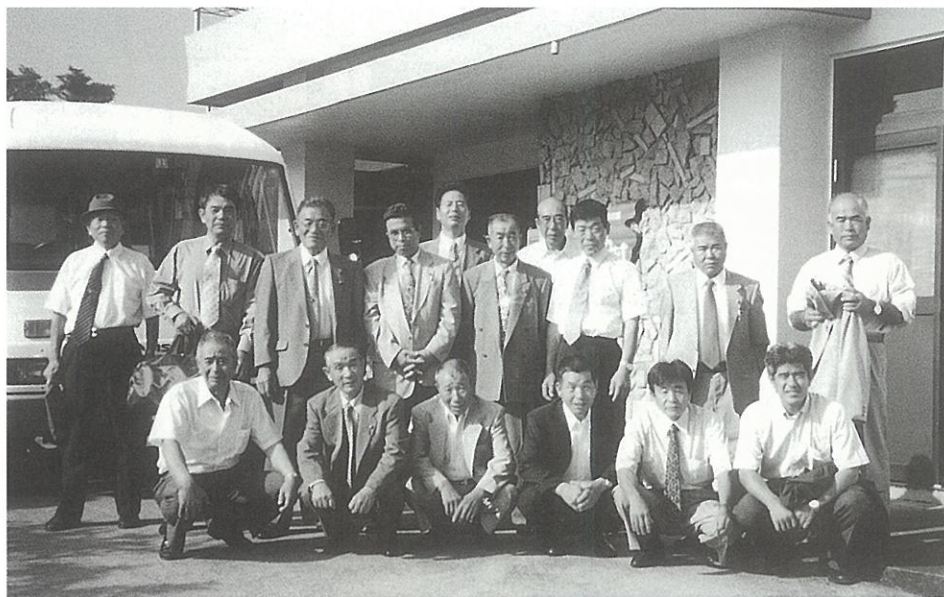
### 「菊池恵風園」の存続と医療・福祉の充実を求める意見書

**ら** い予防は96年に廃止されたのに、ハンセン病に対する誤った知識や、病気に対する差別や偏見は今なお消えない。恵風園の入所者は、そうした風潮に堪えながら療養に努めているが、高齢化や成人病にも悩んでいる。そうした恵風園を、国は、行政改革優先主義で他の施設と統廃止することを考慮しているが、そうではな

く、さらに医療・福祉の充実を図り地域に開かれた医療施設として充実させることが入所者の望みである。この趣旨に賛同して国に意見書を提出していただきたい。

#### 採択

**陳情者** 国立療養所菊池恵風園入所者自治会長太田明、ほか



記念撮影する農業委員。9月には任期が満了する

歌之介・独演会

7月24日

あゆ祭り・初日

# あゆみ 鮎 緑 オープン



## 設計変更で契約額が増加

「あゆみ」と愛称が決まった総合保健福祉センター。建設工事の最終局面を迎えた6月30日、契約の変更を議題とした臨時議会が開かれました。

## 議会は承認

執行側が5千万円以上の工事請負契約を結ぼうとする場合には、その契約の可・否をチェックする権限が議会にあります。また、チェックを受けた契約事項を変更する際にも、再び議会のチェックが働きます。今回は、昨年11月に議会のチェックを受けていた契約事項のうち、金額が、設計変更に伴って増加するから、再び議会のチェックを受ける議決が必要となったものです。

「あゆみ」と愛称が決まった総合保健福祉センター。建設工事の最終局面を迎えた6月30日、契約の変更を議題とした臨時議会が開かれました。

執行側が5千万円以上の工事請負契約を結ぼうとする場合には、その契約の可・否をチェックする権限が議会にあります。また、チェックを受けた契約事項を変更する際にも、再び議会のチェックが働きます。今回は、昨年11月に議会のチェックを受けていた契約事項のうち、金額が、設計変更に伴って増加するから、再び議会のチェックを受ける議決が必要となったものです。

執行側が5千万円以上の工事請負契約を結ぼうとする場合には、その契約の可・否をチェックする権限が議会にあります。また、チェックを受けた契約事項を変更する際にも、再び議会のチェックが働きます。今回は、昨年11月に議会のチェックを受けていた契約事項のうち、金額が、設計変更に伴って増加するから、再び議会のチェックを受ける議決が必要となったものです。

執行側が5千万円以上の工事請負契約を結ぼうとする場合には、その契約の可・否をチェックする権限が議会にあります。また、チェックを受けた契約事項を変更する際にも、再び議会のチェックが働きます。今回は、昨年11月に議会のチェックを受けていた契約事項のうち、金額が、設計変更に伴って増加するから、再び議会のチェックを受ける議決が必要となったものです。

## 編集後記

日本の20世紀後半の驚異的な経済発展は、誰でも周知のとおりである。それは、成長というバスに皆が乗っかかっての国造りであったかもしれない。

しかし、何事も無限に右肩上がりの成長が続くものでもない。今、経済の低成長期を迎えて価値観が変わり、人々は個性的な豊かさの追及が生まれた。人間らしくがモチーフとなりつつある昨今である。

そうした中、ミレニアム年に偶然なのか高度成長期に活躍された大物の政治家が逝去され、ミレニアムの総選挙では、ある種の変革が生まれた。21世紀が20世紀に、自然淘汰してこいと促しているように思える。今回選ばれた政治家が、新世紀にふさわしく、国民のための政治に傾注することを願いつつ、我々議会議員も町民ニーズの変遷に对应する晴耕雨読の今日である。

(H・T)

発行

甲佐町議会広報編集特別委員会